



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 イビデン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 佐野 尚 TEL 0584 - 81 - 3111

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 2019年11月22日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	144,354	0.1	7,647	30.2	8,475	7.9	3,896	29.3
2019年3月期第2四半期	144,247	1.6	5,872	15.0	7,855	4.9	5,508	15.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 452百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 10,187百万円 ( 40.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	27.89	
2019年3月期第2四半期	39.43	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	499,678	273,066	53.5	1,914.78
2019年3月期	423,056	276,305	64.0	1,938.59

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 267,563百万円 2019年3月期 270,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		20.00	35.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	3.0	17,000	67.7	17,000	34.9	7,000	111.7	50.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「会計方針の変更」及び「会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	140,860,557 株	2019年3月期	140,860,557 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	1,124,468 株	2019年3月期	1,138,769 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	139,734,787 株	2019年3月期2Q	139,719,908 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済に支えられ、全体としては緩やかに成長しましたが、米中の通商問題に端を発した中国経済の減速傾向や各国政策の不確実性に伴うリスクにより、不安定さを増しております。国内経済も、不安定な世界経済の動向に伴う影響を受け、輸出や生産の一部に弱さが見られるなど、企業をとりまく経営環境は不透明な状況にあります。

半導体・電子部品業界の市場は、スマートフォン市場は前年対比でマイナス成長が続いておりますが、パソコン市場に下げ止まりの兆しが見られたことに加え、データセンター向けサーバー市場を中心とした新たな市場が概ね堅調に推移したこともあり、全体としては成長傾向で推移しております。

自動車業界の排気系部品市場は、自動車販売台数が世界的にマイナス成長となったことに加えて、欧州乗用車市場におけるディーゼル車販売比率の低下が継続するなど、引き続き厳しい状況にあります。

このような情勢のもと、当社におきましては、2018年度より始動しております5カ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」に基づき、人財育成を基盤に、伸びる市場に対して積極的に経営資源を投入し、既存事業の競争力と新規事業の拡大による安定した成長の実現に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,443億54百万円と前年同期に比べ1億6百万円(0.1%)増加しました。営業利益は76億47百万円と前年同期に比べ17億75百万円(30.2%)増加しました。経常利益は84億75百万円と前年同期に比べ6億19百万円(7.9%)増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては38億96百万円と、前年同期に比べて16億12百万円(29.3%)減少しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

## 電子事業

パッケージ(PKG)事業におきましては、パソコン市場に下げ止まりの兆しが見えたことに加えて、ICTの進展に伴うデータ処理量の増加により、データセンターで使われるサーバー向けICパッケージ基板の需要が順調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板(MLB)事業におきましては、サーバー向けモジュール基板の売上はおおむね堅調に推移しましたが、ハイエンドスマートフォン向けの売上が減少した結果、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、電子事業の売上高は627億67百万円となり、前年同期に比べ4.3%の増収となりました。同事業の営業利益は、PKG事業の売上増加と不採算製品の生産縮小などによる事業の選択と集中を進めた結果、52億90百万円となり、前年同期に比べ444.2%増加しました。

## セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、主力の欧州市場を中心としたディーゼル乗用車比率低下による影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。2020年に向けて、排ガス規制の強化に伴い拡大が見込まれる新興国の大型車向けDPF市場におけるシェア拡大と新規顧客への拡販に取り組んでまいります。

触媒担体保持・シール材(AFP)は、世界的に自動車販売が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

NOx浄化用触媒担体(SCR)は、自動車向け製品及び定置式の脱硝触媒の販売が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

特殊炭素製品(FGM)は、米中貿易摩擦の影響に端を発した半導体市場の減速により、需要が減少した結果、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は462億68百万円となり、前年同期に比べ11.6%減少しました。同事業の営業利益は3億32百万円となり、前年同期に比べ90.2%減少しました。

#### 建設事業

建設部門におきましては、排水処理・受変電工事を中心に受注は堅調に推移しましたが、工事の完工時期が下期に集中していることから、前年同期に比べ売上高は減少しました。

以上の結果、建設事業の売上高は21億30百万円となり、前年同期に比べ2.9%減少しました。同事業の営業利益は、5億60百万円となり、前年同期に比べ13.9%減少しました。

#### その他事業

建材部門におきましては、住宅設備機器販売部門は、コンポーネント住宅の拡販に努めた結果、前年同期に比べ売上高は増加しました。

その他部門におきましては、石油製品販売部門は、販売数量の減少および販売価格の下落により、前年同期に比べ売上高は減少しました。また、合成樹脂加工部門は、精密分野および建材分野向け発泡樹脂製品ならびに自動車分野向け射出製品の販売数量増加により、前年同期に比べ売上高は増加しました。

以上の結果、その他事業の売上高は331億86百万円となり、前年同期に比べ12.4%増加しました。同事業の営業利益は、16億72百万円となり、前年同期に比べ77.2%増加しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	113,492	182,606
受取手形及び売掛金	60,278	57,804
商品及び製品	17,793	14,625
仕掛品	11,357	13,054
原材料及び貯蔵品	19,619	19,007
その他	6,528	8,713
貸倒引当金	△98	△168
流動資産合計	228,972	295,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,212	58,583
機械装置及び運搬具（純額）	46,309	44,421
土地	19,962	19,820
リース資産（純額）	21	14
建設仮勘定	13,342	24,663
その他（純額）	4,863	5,544
有形固定資産合計	146,710	153,047
無形固定資産	4,162	4,030
投資その他の資産		
投資有価証券	39,142	42,642
長期貸付金	9	9
繰延税金資産	2,915	3,081
その他	1,405	1,482
貸倒引当金	△261	△257
投資その他の資産合計	43,210	46,957
固定資産合計	194,084	204,035
資産合計	423,056	499,678

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,562	39,097
短期借入金	20,030	20,030
1年内償還予定の社債	25,000	-
未払金	9,111	10,404
未払法人税等	2,366	1,962
賞与引当金	3,438	3,706
役員賞与引当金	89	-
関係会社整理損失引当金	4,864	1,499
設備関係支払手形	1,618	2,773
その他	12,001	12,132
流動負債合計	118,082	91,605
固定負債		
社債	15,000	50,000
長期借入金	10,000	80,000
リース債務	43	41
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	671	629
株式報酬引当金	179	200
繰延税金負債	1,974	2,681
その他	729	1,386
固定負債合計	28,668	135,006
負債合計	146,751	226,612
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	122,144	123,243
自己株式	△2,602	△2,574
株主資本合計	248,274	249,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,415	14,951
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	10,012	3,050
その他の包括利益累計額合計	22,588	18,162
非支配株主持分	5,442	5,503
純資産合計	276,305	273,066
負債純資産合計	423,056	499,678

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	144,247	144,354
売上原価	114,251	112,777
売上総利益	29,996	31,576
販売費及び一般管理費	24,124	23,928
営業利益	5,872	7,647
営業外収益		
受取利息	136	147
受取配当金	572	556
持分法による投資利益	1	-
為替差益	526	288
受取補償金	830	-
その他	367	270
営業外収益合計	2,434	1,263
営業外費用		
支払利息	76	49
社債発行費	-	146
持分法による投資損失	-	0
その他	374	239
営業外費用合計	450	435
経常利益	7,855	8,475
特別利益		
固定資産売却益	6	95
投資有価証券売却益	936	-
その他	1	17
特別利益合計	944	112
特別損失		
固定資産除却損	476	850
投資有価証券売却損	-	45
関係会社整理損	-	458
割増退職金	-	675
災害による損失	69	-
その他	29	70
特別損失合計	576	2,100
税金等調整前四半期純利益	8,223	6,486
法人税等	2,577	2,520
四半期純利益	5,645	3,966
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,508	3,896



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,645	3,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	775	2,547
繰延ヘッジ損益	△526	-
為替換算調整勘定	4,292	△6,966
その他の包括利益合計	4,541	△4,418
四半期包括利益	10,187	△452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,022	△529
非支配株主に係る四半期包括利益	165	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社は、IFRS第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は、軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、第1四半期連結会計期間より、次世代及び新分野向け設備投資が当連結会計年度より順次稼動することを契機に、一部の電子部品製造設備について使用状況を見直した結果、耐用年数を見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益並びに税金等調整前四半期純利益が3億30百万円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	建設	計				
売上高								
外部顧客への売上高	60,156	52,359	2,194	114,710	29,536	144,247	—	144,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	176	2,880	3,057	563	3,621	△3,621	—
計	60,158	52,535	5,074	117,768	30,100	147,869	△3,621	144,247
セグメント利益	972	3,391	650	5,013	943	5,957	△85	5,872

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△85百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの利益ごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	建設	計				
売上高								
外部顧客への売上高	62,767	46,268	2,130	111,167	33,186	144,354	—	144,354
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	102	2,929	3,032	5,357	8,390	△8,390	—
計	62,768	46,371	5,060	114,200	38,544	152,744	△8,390	144,354
セグメント利益	5,290	332	560	6,183	1,672	7,855	△207	7,647

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△207百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの利益ごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セラミック」における子会社の解散に伴い、建物及び構築物、土地について、帳簿価額を回収可能額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては210百万円であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「建設」について量的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成したものを記載しております。

4 会計上の見積りの変更

当社は、第1四半期連結会計期間より、次世代及び新分野向け設備投資が当連結会計年度より順次稼動することを契機に、一部の電子部品製造設備について使用状況を見直した結果、耐用年数を見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が「電子」で3億30百万円増加しております。